

事業計画書

事業名	佐久郷土かるた「佐久っ子かるた」～未来を切り拓く青少年へ～
実施箇所	かるた募集:佐久市内小学校 かるた大会:佐久市市民総録センター
実施期間	事業開始予定年月日 2017年4月1日
	事業終了予定年月日 2018年1月10日
	<p><事業の目的></p> <p>私たちが日常と考え、暮らし続けている愛する信州佐久市には、数多くの魅力と歴史があります。澄みきった水、豊かな山、時を伝える史跡、恵まれた天候、四季折々に望む心地よい風景、地域愛を持ち続けた人物、企業、団体等、私たちが普段何気なく感じてはいるながらも、それらの魅力は人知れず守られ常に輝きを持ち続けています。そして、これらの魅力は親から子へ、子から子へと語り受継がれてゆく事で想いが引き継がれ、その輝きを持続的に保ち続ける事が可能です。</p> <p>青少年教育に目を向けると、子育てをする親と子供たちを取り巻く環境は時代と共に変化をしています。生活環境が充実すると同時に情報ツールの発達により社会は便利になり、生活し易く素早くどんな情報や答えでも手に入るようになった一方で、親子同士はお互いが接しあう時間を必要と自覚してはいるながらも、共に時間を十分に使いながら会話や作業をし、本来親が子へ伝えてゆくべき生きるための経験、郷土の歴史や自然、そして風土といったものの伝達の機会が少なくなってきました。しかし、現代社会では、その時代ならではの直面する新たな問題にも柔軟に対応するための経験や、自己主張の一環として自分や身近なものをアピールし、他者との関係性を保ちつつ新たな道を切り拓く力がより求められています。</p> <p>吸収力が強く様々な体験をすべき青少年の時期に、まず自分の住むふるさとを知り、実際に触れ、学ぶきっかけは必要と言えます。また、それらの経験や歴史、魅力は親子の共通の時間の中で繰り返し子供たちに伝えられてゆく事により、子供たちの心へ深く根差し、今後の私たちの町の未来を支える立派な青年への成長を促すことに繋がると確信しています。</p> <p>ゆえに、佐久市民の皆様幅広く活用していただける、佐久市の数々の魅力と伝えてゆくべき歴史等を盛り込んだツールを作成することは、親子のふれあいを持たせつつ、子供たちへ郷土愛を育ませ、未来を担う人材を育成する上で、非常に意味のあることであると考えます。</p> <p><事業の内容></p> <p>1. 佐久の魅力を感じ込んだ詠み句の募集</p> <p>佐久市内の児童と保護者から一般募集する事により、実際に制作するかるたに対する愛着を深めていただくと同時に、詠み句を考えるにあたり、親子のふれあいの機会を創出し、実際に地域へ散策、調査に出かける機会となり、地域の事を親子共に考える事につながり、生活する町に対する意識の向上を図ることができる。</p> <p>参加予定者：佐久市児童5256名とその保護者</p> <p>① かるた詠み句募集チラシ配布 3月13日～ 3月15日 印刷後、各小学校へ配布 ↓↓（3日間）プレスリリース</p> <p>② 詠み句の募集 3月13日～ 4月16日 詠み句の応募を呼び掛ける</p>

2. 「佐久っ子かるた」選考会

団体で作品を選出し制作するのではなく、他団体と協力の内に作品を選出することで、様々な意見を募り、より良い佐久のアピールとなるかるた制作を目指す。また、選出をきっかけに共に青少年に関する意見交換をする事で、交流を深め、今後の各団体の活動への広がりをもたらす機会とすることができる。選考に関しては佐久青年会議所内で予備選考を行い、1枚に対し5句程度の句をあらかじめ選定しておく。また、句数が少ない場合は、補作を予備選考の段階で行い、選考会にて判断をする。

日時：平成29年5月15日（月）

場所：佐久平プラザ21

「佐久っ子かるた」選考会 参加予定者 佐久商工会議所青年部 5名

佐久市教育委員会 2名

佐久市生涯学習課 2名

佐久市子育て支援課 2名

佐久市内活動サークル 4名

佐久青年会議所 47名

合計 62名

3. 詠み句に合わせての絵の作画を佐久市内に拠点をもつ活動サークルへ依頼

佐久市に本拠地を置く絵画団体等に依頼をし、絵札をデザインしていただくことにより、地域ぐるみでのかるた制作を目指すと共に、かるたを芸術としての観点からも完成度を高める。また絵の魅力により、地域の魅力をより具体的、端的に伝えられるかるたとする事ができる。主として、地域の高校の美術部へ依頼を行い、生徒たちが主体となるように絵の制作を行う。

① 絵札作画依頼 5月28日～

6月25日 佐久市内の活動サークルへ依頼

↓↓（29日間）サークルごとの制作活動

② レイアウト・印刷 6月01日～

7月15日 印刷業者へ入校

（15日間）印刷業者の印刷期間

4. 「佐久っ子」かるたを佐久市内小学校・児童館・図書館に配布

全児童家庭に配布することで、購入方式ではない形の普及を目指す。また、かるたを活用する、しないに関わらず、親子ふれあいのきっかけを佐久地域のすべての児童と親子に提供することができる。どの家庭に対しても同様に提供することで、郷土を知ることの大切さと、郷土を発展させるために必要なものを考えるきっかけとし、地域へ率先して関わってゆくことへの意識変革をもたらすことができる。また、実際にかるたを通して知った歴史、地域に関する場所へ親子共に出かける事にも繋がり、学習する機会ともなる。

配布場所：佐久市内各小学校・児童館・図書館・市内保育園・幼稚園へ配布

【かるた同封物】

・かるた題材名所の説明書き（詠み句選出者の名前を記載）A3

・かるた遊び方説明書（上記題材名所の説明書きの一部に記載）

・かるた裏面の名所マップを完成させるための完成絵図（商工会議所の協賛

企業名、位置入り図）A3別紙

日29年7月18日（火）～7月22日（土）

「佐久っ子かるた」配布先（案）

佐久市内小学校 4465

佐久市内児童館 95

佐久市内図書館 15
佐久商工会議所 50
佐久青年会議所 50
佐久地域内保育園等 1125
かるた大会用 200
合計 6000

5. 第1回「佐久っ子かるた」大会

かるたの普及の一環として、かるた大会を開催する。大会実施することで、より多くの人々へのかるたの認知度の向上を図れる。また、大会という成果を出せる場を提供することでかるたを活用する意欲を高め、佐久地域の児童へ佐久かるたを根付かせ、郷土を愛し、自ら地域の魅力を発信できる未来を担う若者への成長を促すきっかけとすることができる。そして他団体と協力しつつ開催を連続することで、他団体や地区等でもかるたを活用していただければ、繰り返し親子へ地域を考える機会を提供できると共に、郷土に関する知識を得た若者を増やし続けてゆく事ができる。

事業概要

① かるた大会募集チラシ配布 7月18日～7月22日 「佐久っ子かるた」と同時にチラシを配布

↓

② 参加者募集 7月18日～9月10日 保護者と児童の大会参加者を募集
↓↓ (55日間) 募集は100組程度

③ 第1回かるた大会実施 9月23日(土) 保護者・児童ペアで大会を実施

日時：平成29年9月23日(土) 参加無料

場所：佐久市創練センター 大会議室(佐久市中央公民館)

時間：13:30 大会受付開始

14:00 大会開始

16:30 大会終了

6. 「佐久っ子かるた」を活用した事例の絵を募集

かるた大会の参加者から、かるたを活用した絵を募集し、例年行われている佐久市ミレニアムパーク内においてのSAKUBLOOMイルミネーションのドリームランタンの近くへ飾る。また、完成した佐久っ子かるたをランタンとして製作し展示をすることで、地域内外の観光者に対しても、ふれあいの大切さや地域の特色について普及を図ることができる。

期間：平成29年11月上旬から平成30年1月上旬

(SAKUBLOOMイルミネーション開催期間中)

場所：佐久市ミレニアムパーク内

＜事業の効果・アピールポイント＞

佐久市の歴史・風土・祭・風景・史跡等に関する佐久地域を題材とした詠み句を佐久市内児童から募集し、その詠み句を元に「佐久っ子かるた」を制作します。かるたを活用することで親子共に郷土に対する知識と愛着を根付かせる事を旨とすると共に、きっかけをかるたとして、親子の様々なふれあいの機会を創出することができます。

- ・かるた遊びをする時だけでなく、詠み句の募集をする事で、子供と一緒に親が考え、地域をふりかえる時間を作ります。
- ・詠み句に応募していなくても、完成したかるたをすべての児童に触れさせることで、ふれあいの時間を作る機会をすべての家庭へ提供します。
- ・絵札が地域の魅力あふれるものとする事で、絵札を見て知らない事柄への興味を沸き立たせ、共に調べ学ぶ時間を作ります。
- ・かるた大会を実施することで、かるたを通して他の親子ともふれあいながら地域全体での青少年教育へ取り組む時間を作ります。
- ・かるたは老若男女を問わずできる遊びであるため、親子に限らず、世代間交流のツールとして活用性があります。
- ・活用事例をイルミネーション会場に展示する事で、佐久地域内外の方々へ佐久市の魅力と子供たちの柔軟な発想を発信することができます。

青年会議所メンバーや協力他団体の皆様には、かるたの選考委員会とかるた大会を通して、連携や交流により、これからの青年育成運動への視野と輪を広げていただく機会を提供いたします。また、かるたを通して新たな見どころや気づきを感じていただき、地域の子供たちの発想力について考察することで、今後の活動への糧としていただくことができます。今回制作したかるたをもとに、かるた大会を開催し続けることで、地域に対する高い意識をはぐくむ人材を育成するきっかけとなり、青年会議所や他団体での青少年活動の一部としてかるたを取り入れるつつの事業を開催することで、継続的な普及を図り続けます。

公益社団法人佐久青年会議所が開催した事業による地域反応率

- ・平成27年6月27日（土） 講師例会
6月公開例会「いま、親が知っておきたい！ 子どもが育つ魔法のこぼれ」
～子どもの可能性を伸ばすために～
参加者337名 チラシ配布12000枚 地域反応率2.80%
- ・平成27年7月13日～平成27年8月23日 地域体験事業
第30回佐久っ子道場 in 神津島 チャレンジ！～夢への第一歩～
参加者83名 チラシ配布5000枚 地域反応率1.66%
- ・平成28年8月20日（土） 職業体験事業
佐久・チャイルドワークス～SAKUの輝きを子ども達の手へ
参加者522名 チラシ配布8000枚 地域反応率6.53%
- ・「佐久っ子かるた」
配布予定者児童と保護者5256名 制作数6000個
網羅率87.6%

地域配布のチラシによる反応結果を見ると、実際に興味のある親子は事業に参加するものの、ほとんどの保護者等は事業に参加していない事になります。

佐久という地域に暮らしてゆく中で、必要な情報やツールを積極的に団体側から生み出し、家庭内・地域での取り組みができる環境と、地域内のすべての児童と保護者へ地域を考える意識変革の機会を提供するために、佐久市内小学校の各児童（平成29年1月現在 5256名）へかるたを配布することは、結果的に地域の歴史や伝統、商業といった事柄を後世へ伝承していくために効果があります。また、世代間の交流を図りながら児童へ郷土愛を伝える事ができ、地域外へも交流のためにかるたを活用することは、自身の住む町の魅力を対外へ発信しやすくなり、地域を活性化させることへ繋がります。

<事業における市の役割分担>

広報へのご協力、かるた詠み句選考会へのご参加、各学校のかるた大会実施推進